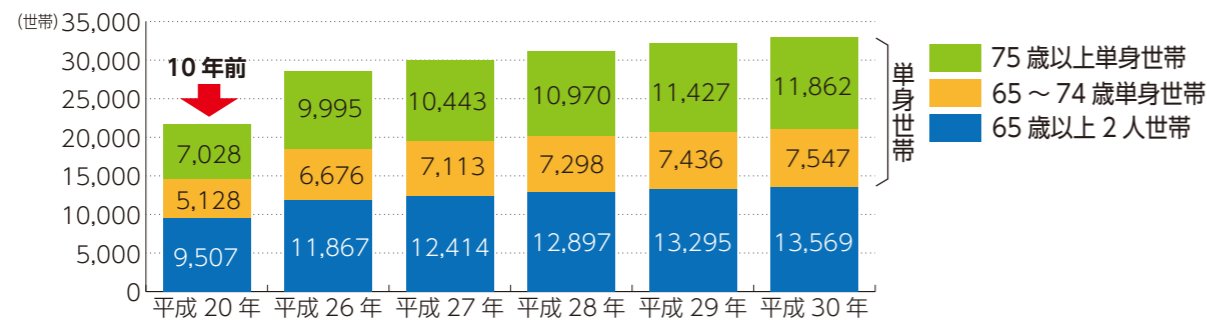


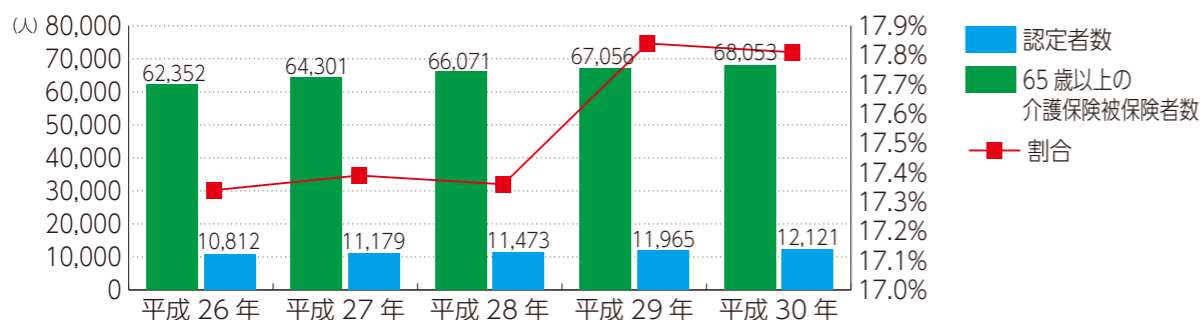
厚生労働省の2017年の高齢者調査によると、現在100歳以上の人は全国で約6万8千人に上り、この20年間で約6.7倍も増えたといえます。平成30年9月末現在100歳以上の人は、横浜市内で1,473人、港北区内では136人となっています。

【高齢者のみ世帯の動向】



区内の65歳以上の高齢者のみの世帯は、約3万3千世帯であり、この10年間で約1万世帯が増え、特に単身世帯の増加が顕著です。

【高齢者に占める介護認定者数の割合】



現在65歳以上の高齢者約6万8千人のうち約1万2千人の17.8%が介護認定を受けています。近年その割合はやや増加傾向にあります。

【人生100年時代】～生涯にわたり輝き続けるためのサポート情報

学びや交流の場、活躍できる場に「つなげる」情報を発信しています。

- 自治会町内会の掲示板・回覧板  
身近な地域のイベントや交流の場の情報を得ることができます。横浜市は自治会町内会への加入をすすめています。
- 港北区区民活動支援センター 045-540-2246  
「学びたい、活動に参加したい」あなたの相談をお受けします。  
港北区役所4階 月～金 8:45～17:00
- 港北区ボランティアセンター 045-547-2238  
「地域のため、人のため、自分のために何かをしたい」あなたの相談をお受けします。  
港北区社会福祉協議会内 月～土 9:00～17:00
- 港北区生きがい就労支援スポット 045-947-2475  
就労や地域活動などを紹介する相談窓口です。 港北区綱島東4-3-17 アピタテラス横浜綱島1階  
相談受付時間(予約制): 月曜～土曜 10:00～18:00
- 老人福祉センター 菊名寿楽荘 045-433-1255  
60歳以上の方が利用できる施設。年間を通して趣味の教室、健康福祉相談を実施しています。  
港北区菊名3丁目10-20 9:00～17:00 (休館日: 第4火曜、年末年始)

特集「高齢化社会と居場所」

家に一人でいるよりも誰かと一緒にいたい。  
そんな思いを形にする居場所づくりの  
取組が広まっています。

このような「居場所」は、赤ちゃん連れから高齢者までのはばひろい年齢層にも呼びかけることで、世代間の交流の場にもなっています。

また、居場所のスペースは地域では空き店舗、空き家、空きスペース、住み開き\*、町内会館などが活用され、地域ケアプラザなど公共施設でも広まってきています。

そのうち本号では区内の4つの取組を紹介します。

ふらっと高田

- 電話 045 (543) 5561
- 場所 港北区高田東4-12-27 家屋の1階 一部
- 時間 月・火・水・木 10時30分～15時30分

- 内容 半日150円の利用料(お茶とお菓子付き)で、くつろげる場所です。高田地区社会福祉協議会の事務所が併設され、高田地区の福祉活動の拠点となっています。
- 運営 地区社協、町内会、施設オーナー、スタッフ、ボランティア代表、地域ケアプラザなどが参加する地域ぐるみの運営委員会が主体。スタッフは民生委員を経験するなど、この地域を知る元気なシニアの女性を中心に週1回の当番制で運営されています。
- 経緯 平成20年4月、オーナーと地域福祉の担い手の思いが合致し、2階建て家屋の1階の一部をリフォームして子どもから高齢者までが立ち寄れる居場所としてスタートして11年目。
- 高齢者向けの取組 健康マージャン、将棋・囲碁、絵手紙、水引、ペン習字、折り紙などの教室が生まれ、60歳代から90歳代の元気なシニアが楽しい時間を過ごせるよう工夫しています。



\*住み開き…住居やその一部のプライベートな空間を地域に開く取組として、近年その取組が広がっています。

地域福祉交流スペース

COCO しのはら

- URL <http://www.bi-no.org/shinohara.html>
- 場所 港北区篠原町 1077 一軒家
- 時間 月から金 9時30分～15時  
(カフェ10時～、ランチ11時30分～13時)

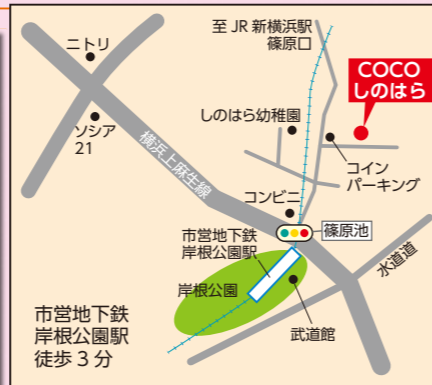
- 内容 カフェ、ランチのほか、レンタルスペースは預かり保育や地域団体の活動の場となっています。
- 運営 NPO法人びーのびーの
- 経緯 2017年4月、庭付きの一軒家を借りてコミュニティ・カフェ、レンタルスペースを運営して2年目。

● 高齢者向けの取組

カフェのほか、月曜、水曜の午前中、体操や健康講座などで楽しく介護予防「のびのび会」の開催

● 地域づくりの一役を目指して

スタート時の思いはたくさんありますが、そのうちの1つ「地域の方の出番がある居場所」をテーマに1年実施。日常の利用者がランチ配膳の手助けや庭の手入れのボランティアとして活動したり、「健康体操」の参加者が自主サークルを発足させ、会員を集めて活動を始めたり、月に1回夜の時間帯に地域の方を講師に迎え、もっと地域を知ってちょっと語れる楽しい夕べ「プレミアムナイト」として企画開催するなど、地域の方の出番で新しい出会いが生まれています。



まちの縁側  
そよご

- 電話 045 (593) 3692 稲垣さん宅
- 場所 港北区新吉田町 4146 稲垣さん宅の庭
- 時間 毎月第4木曜日 10時～11時30分

- 内容 稲垣さん宅の庭にテントを張り、そのスペースが近隣の高齢者の交流の場となっています。参加費は100円でお茶とお菓子付き
- 運営 かつての「縁側」の復活を呼びかける3人が中心
- 経緯 平成23年5月から月1回の会を重ね7年目。
- 高齢者向けの取組

参加のきっかけづくりとして囲碁、手芸、歌、園芸、異文化を知る会や熊本大地震被災地から学ぶ講座なども開催。



街カフェ  
大倉山ミエル

- URL <https://cafemiel.jimdo.com/>
- 場所 大倉山 4-36-26 一軒家
- 時間 月から金 10時～15時

- 内容 カフェ、ランチのほか有機野菜の直売など地域の団体と連携したイベントも開催。
- 運営 NPO法人街カフェ大倉山ミエル
- 経緯 2010年11月に空き店舗を活用し開店。空き家、住み開きのサロンを経て4回目の引っ越しでギャラリーとして地域に開いていた一軒家を借りてコミュニティ・カフェを運営。

● 高齢者向けの取組

- ・「お出かけミエル」月曜10時から13時 シニア向けのプログラムと食事つきのサロン 500円
- ・「認知症カフェ」第2水曜14時から16時 申込制 200円

● 認知症カフェ

全国的に近年急増中の「認知症カフェ」を月1回開催。「認知症カフェ」は認知症の人とその家族が孤立しないよう、お茶を囲むカフェの雰囲気でお互い交流し、専門家のアドバイスを得たりできる場所です。なによりも当事者や家族の笑顔が出る場所となっています。時にはおしゃべりの中で介護家族ならではのコツや、介護施設、病院のうわさ話も…。



港北区社会福祉協議会は、  
「みんなの居場所」づくりを応援します。

誰もが集える交流の場・  
居場所づくりを応援します！  
子どもからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる場、  
気軽にお話ができる場となる「みんなの居場所」を地域の力でつくりましょう。



港北区内では、「ふらっと高田」、「大倉山みんなの居場所」、城郷地区の「ホットカフェ」の3か所の居場所の運営を支援してきました。現在、住民同士の交流や活動が深まり、地域が活性化し、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄る場となっています。今後も、身近で集える場所がより一層必要と考えます。

港北区社会福祉協議会は、相談から立ち上げ支援まで、「資金援助」や「ネットワークづくり」などを通して居場所づくりを応援します。  
※詳しい内容についてはお問い合わせください。

お問い合わせ先  
TEL 045-547-2324  
港北区大豆戸町 13-1 吉田ビル 206  
横浜市港北区社会福祉協議会